

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	みんなの木 天美		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜・祝日等は基本的に車に乗ってお出掛けに行きます、次の活動の時間が視覚的に分かるようにホワイトボードを利用し、時間、活動などが表記しています	お出かけ先については子どもたちが行きたいと言っているところをプログラムに入れたり、公園の行き先も子供たちと決めるなどしています、活動の目標・ルールははかりやすく端的に表記しています	帰りの挨拶をする前にその日の活動でできるようになったことや楽しかった事を発表する時間を設けています 次の活動へスムーズに切り替えられるようにタイマーを使用し事前に声掛けを行っています
2	ランチやおやつ作りと称して、お昼ご飯や、おやつなど、クッキングを行っています 挨拶(おはようございます!、だだいま! さようなら! ありがとう!)	児童にお手伝いしてもらおう際、強制はせず、興味が沸くように声掛け、促しをしています 支援員みんなが積極的に一人一人の児童に対して挨拶するようにしています	支援員が一对一でついた上で包丁や火を使った作業に挑戦し家事のスキルの強化を図っています 帰る前にはみんなで集まって『さようなら』の挨拶をして気持ちよく帰っています
3	帰る前にみんなの木で使ったところの掃除をしています。	一人一人の掃除するところを支援員が決めており、役割と働くことの意義を感じられるようにしています	日々のお掃除出来た児童にはポイントを付けていき、貯まったポイントでお買い物ができるようにしています

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内でミーティングやケース会議があまり行われていない	支援員の出勤や出勤時間がバラバラで支援員の揃う日がなかなかない	ミーティングやケース会議を行う日を事前に決めて、それに合わせてシフトを作成していく
2	一部の支援員のみが障がい特性についての理解を深めている状態になっている	事業所内で研修不足外部の研修にあまり参加ができない	専門的知識を持っている支援員がまえに立って研修を行ったり、外部で行われている、研修にも積極的に参加していく
3	1人の児童が不調和になってしまうと他の児童も崩れてしまうケースが多々ある	一つの部屋で児童全員を見ていること	場面に応じて環境を区切ったり、その日調子の悪い児童に個室を設けるなどのたいさくをしていく